

# 平成31年度 海田南小学校特別支援教育推進計画

特別支援教育コーディネーター

## 1 特別支援教育重点目標

- (1) 発達障害を含めた障害のある児童一人一人のニーズを把握し、個に応じた指導を基本として、学力および生活上の諸能力の向上を図る。
- (2) 特別支援学級の児童に対する個別支援を学校全体で進める。
- (3) 通級指導教室へ通う児童に対する個別支援を関係諸機関と連携して進める。

## 2 特別支援推進委員会の構成と役割

＜構成メンバー＞

- 校長・教頭
- 特別支援教育コーディネーター
- 主幹教諭・養護教諭
- 特別支援学級担任
- 交流学級担任

〈役割〉

- (1) 学習や行動面及び生活環境面で特に指導上配慮を必要とする児童、とりわけ特別な教育的支援が必要な児童の実態把握と共通理解
- (2) 特別な支援の方策の検討（個別の指導計画は各担任が作成。）
- (3) 専門家及び専門機関との連携・活用
- (4) 校内研修の推進
- (5) 保護者との連携
- (6) 具体的な個々の支援は、担任・支援者・スクールカウンセラー・コーディネーター等でケース会議を随時開き検討

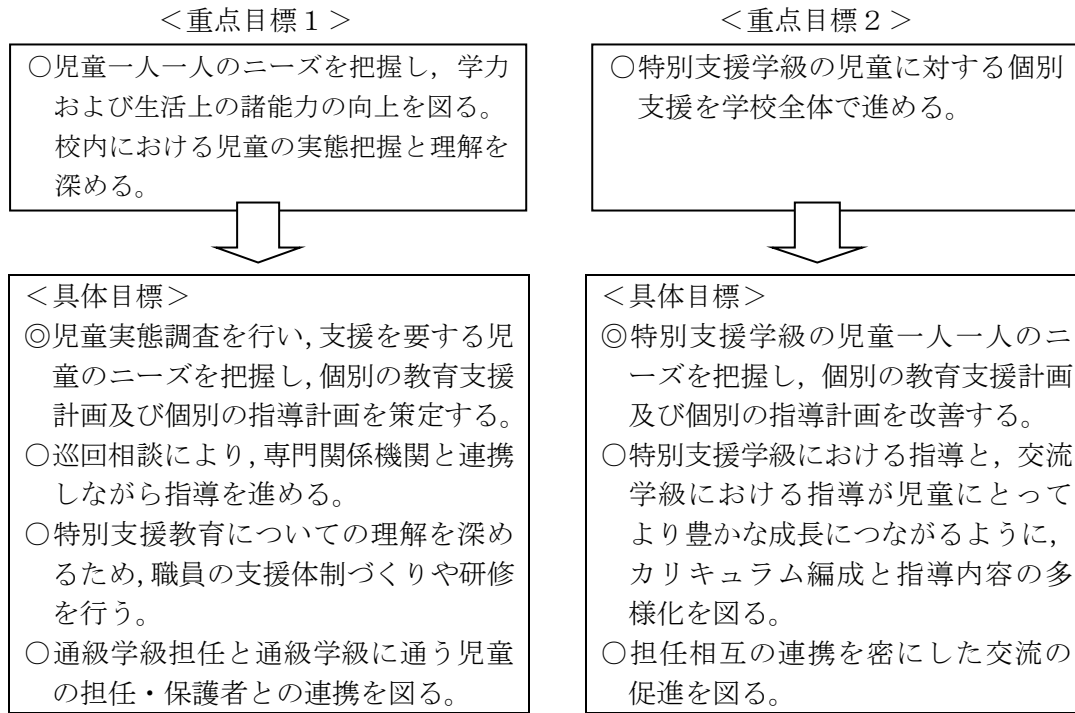
※ 必要に応じて、校内生徒指導部会または、交流学級担任・特別支援を要する児童担任と連携し、児童一人一人のニーズを把握し、より適切な教育的支援を行うことができるようにする。

## 3 特別支援教育コーディネーターの役割

- (1) 校内の関係者や関係諸機関との連絡調整を行う。
- (2) 特別支援推進委員会を月1回実施し、推進役として、研修の企画・準備をする。
- (3) 保護者に対する相談窓口となる。必要に応じて、随時面談も行う。
- (4) 担任と連携し、具体的な支援内容・支援方法について工夫改善を行う。
- (5) 巡回相談を定期的に受ける。

- ・ 呉特別支援学校 特別支援教育コーディネーター 巡回相談 7回
- ・ 広島県立特別支援学校 特別支援教育コーディネーター 巡回相談 8回
- ・ 広島中央特別支援学校 特別支援教育コーディネーター 巡回相談 1回

#### 4 具体的な取組



#### 5 年間計画

月	活動内容
4月	○学級開きにあたって(ユニバーサルデザイン・特別支援学級・通級指導教室等について) ○特別支援学級児童及び通常学級における特別な支援を要する児童についての実態把握 ○通常学級児童の特別支援を要する児童の実態把握 ※昨年度のファイル(個別の教育支援計画及び個別の指導計画改善)の引継 ○特別支援学級児童についての全校児童へ理解を深める場の設定(全校朝会) ○通級指導教室の説明(全校朝会) ○交流学級交流計画検討 ○年間計画・交流及び共同学習計画作成 ○通級指導教室連絡調整 ○特別支援教育推進委員会設置 ○スクールカウンセラー・各校コーディネーター・専門機関との連携(年間を通して) ○家庭訪問・個別の教育相談 ○巡回相談
5月	○運動会に向けて、配慮のいる児童について周知・手立ての提案 ○支援アプローチについて(特別支援教育の視点から) ○巡回相談・個別の教育相談
6月	○特別支援学級児童の、職員への理解を深める場の設定(特支担任より) ○巡回指導・個別の教育相談
7月	○1学期反省 ○個人懇談会・個別の教育相談
9月	○巡回相談・個別の教育相談
10月	○巡回相談・個別の教育相談
11月	○巡回指導・個別の教育相談・新1年生教育相談 ○第1回海田町教育支援委員会
12月	○2学期反省 ○個人懇談会・個別の教育相談
1月	○巡回相談・個別の教育相談 ○第2回海田町教育支援委員会
2月	○個別の指導計画及び個別の支援計画反省・引継ぎファイル作成 ○巡回相談・個別の教育相談
3月	○年度末反省 ○個別の教育相談

※必要に応じて臨時校内委員会を開き、児童一人一人に応じたより適切な教育的支援について検討する。

※常に保護者・関係諸機関と連携して児童理解を深め、より適切な教育的支援を行う。